

文部科学省 図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業

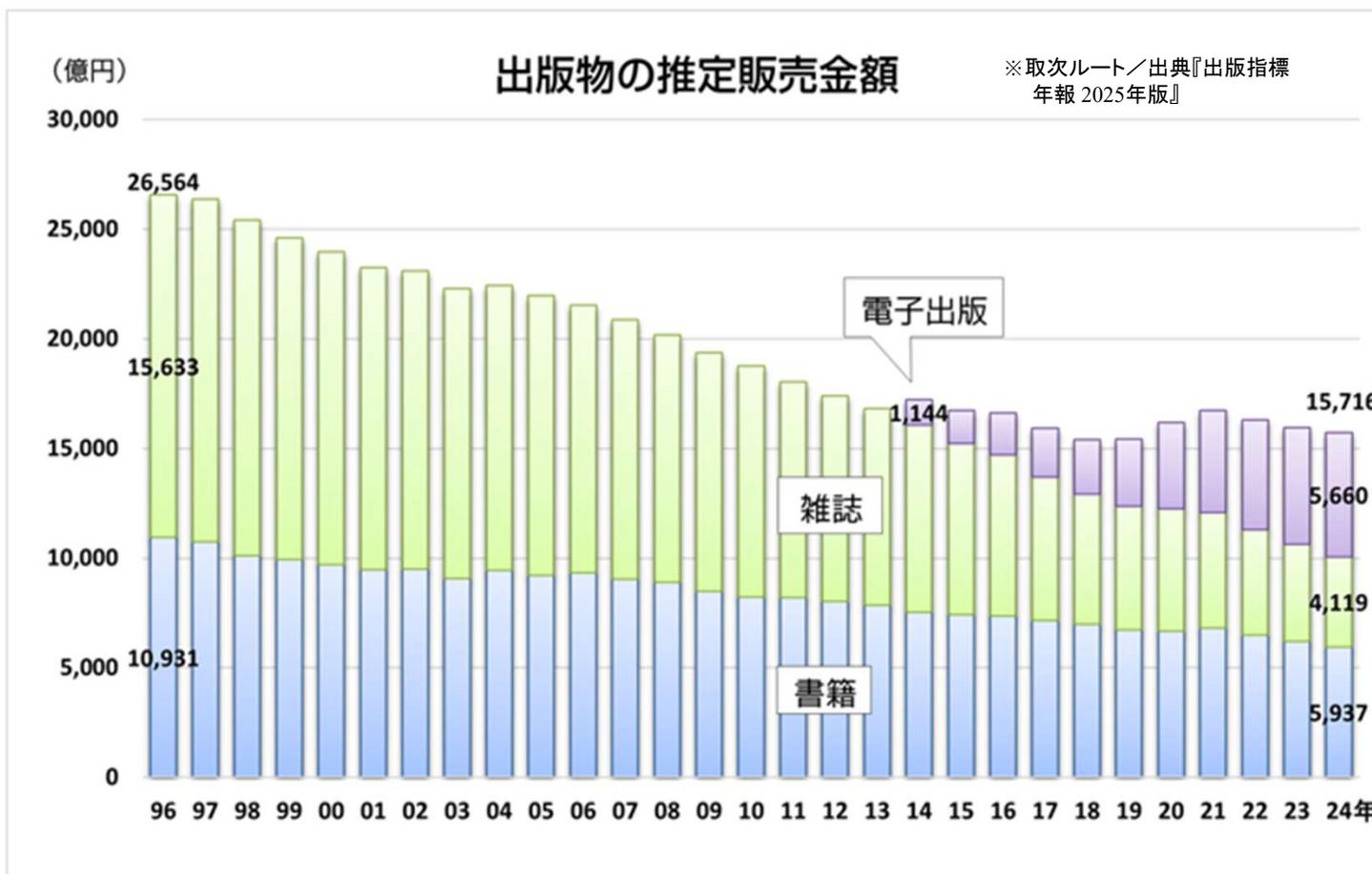
書店と図書館がつなぐ未来の読者

～書店のいま～

令和8年2月7日

株式会社 長崎書店
代表取締役 長崎健一

出版物市場全体の状況



出版業界の売り上げはピークとなった1996年までは上り坂一辺倒で来た。だが、1997年に初の前年割れとなり、以降、下降の一途をたどることとなった。

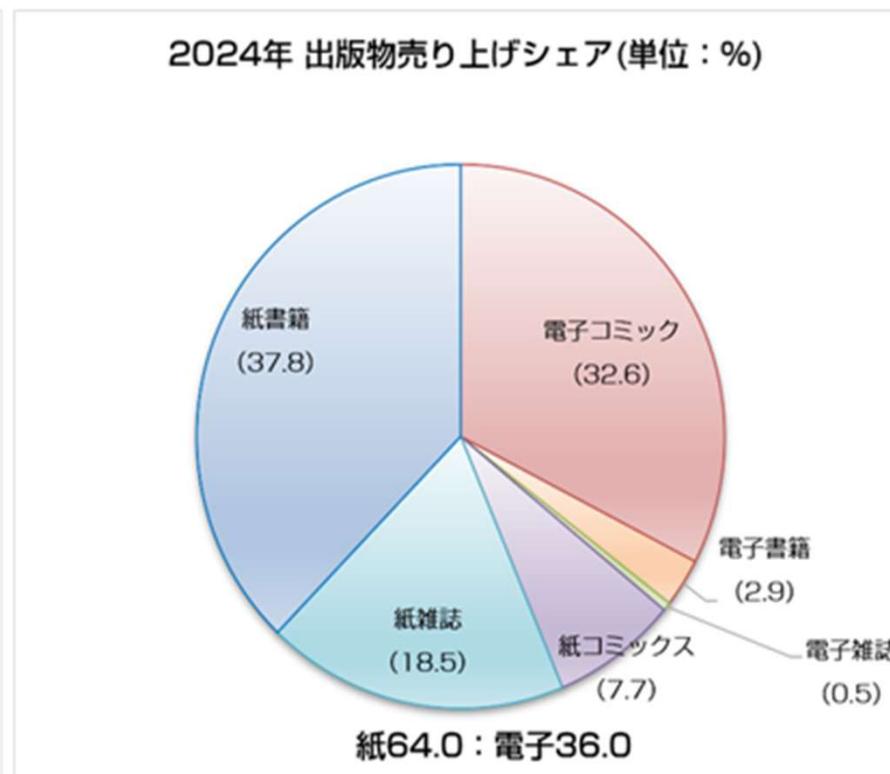
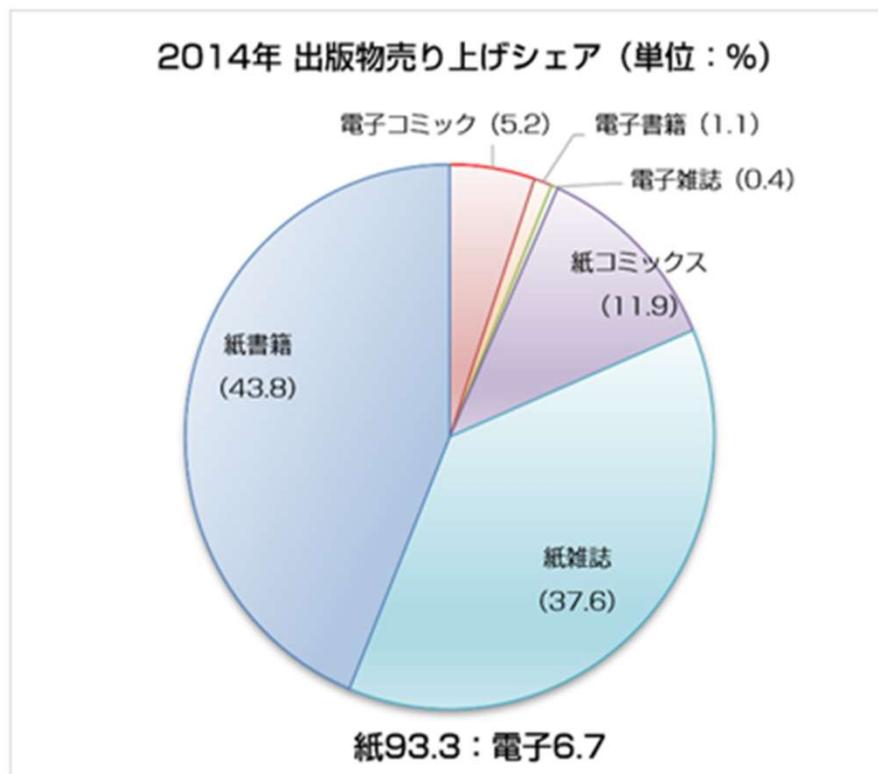
特に雑誌市場は、少子高齢化に加え、インターネット、スマートフォン(2010年代～)の普及などから、需要が激減。その代わりに電子出版が増加してきた。

2016年には書籍と雑誌の売り上げが逆転、雑高書低が終わりを告げた。

書籍市場は雑誌に比べればまだ健闘していると言えるが、厳しい状況に変わりはない。

ただし、今年の年末年始の店頭が全国的に堅調であったことは、よい兆しと考えたい！

出版物の売上シェア推移 2014-2024



2014-2024(9年間)で市場は大きく変化した。なかでも電子コミックの成長が著しい。

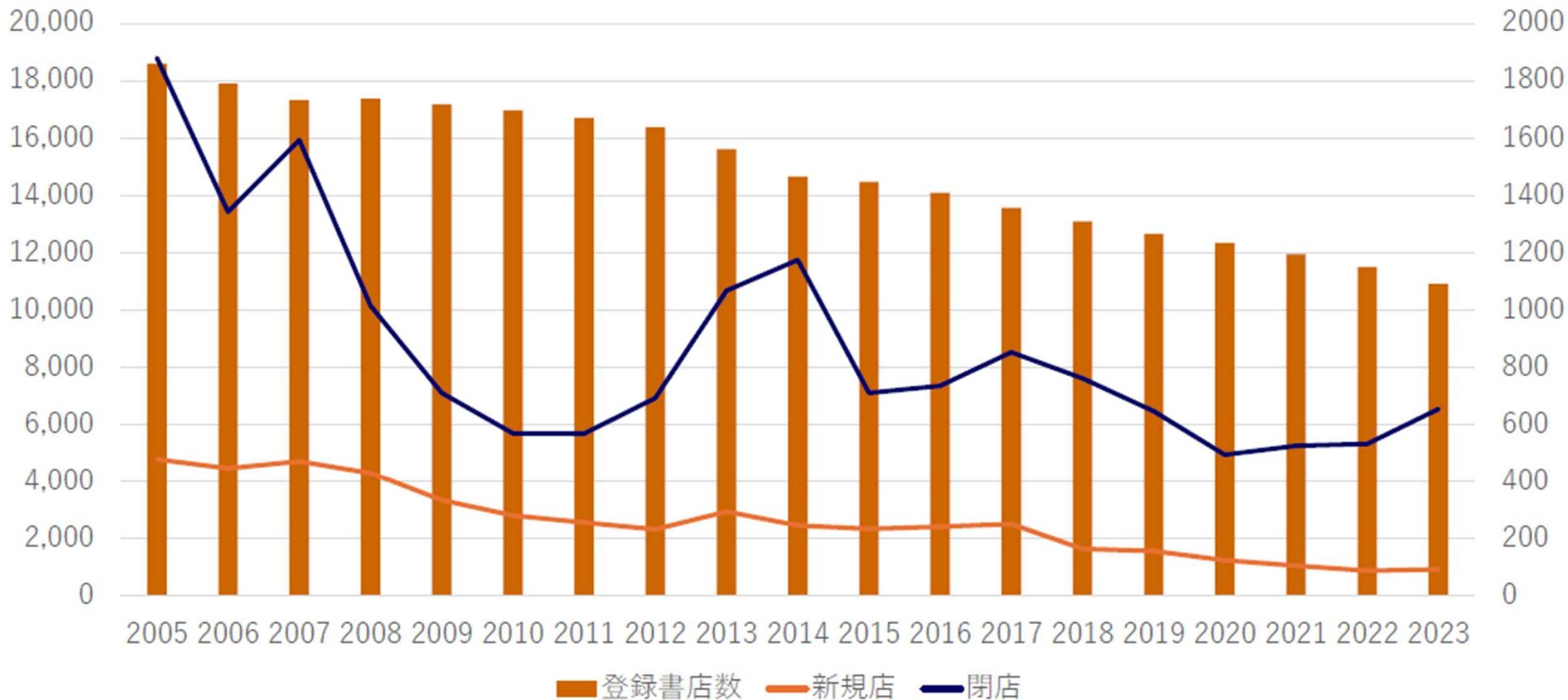
電子市場におけるコミックのシェアは年々増しており、今や9割を超えている。

紙+電子のコミック市場で見ると、2019年以降新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり需要によって映像化作品が大ヒット。

22年は巣ごもり需要が終息してきたものの5年連続でプラス成長となった。

いまや出版市場全体におけるコミック(紙+電子)のシェアは4割を超え、依然として拡大傾向にある。

書店の現況 全国の書店数推移



日本出版インフラセンター 作成資料
より

書店の状況について

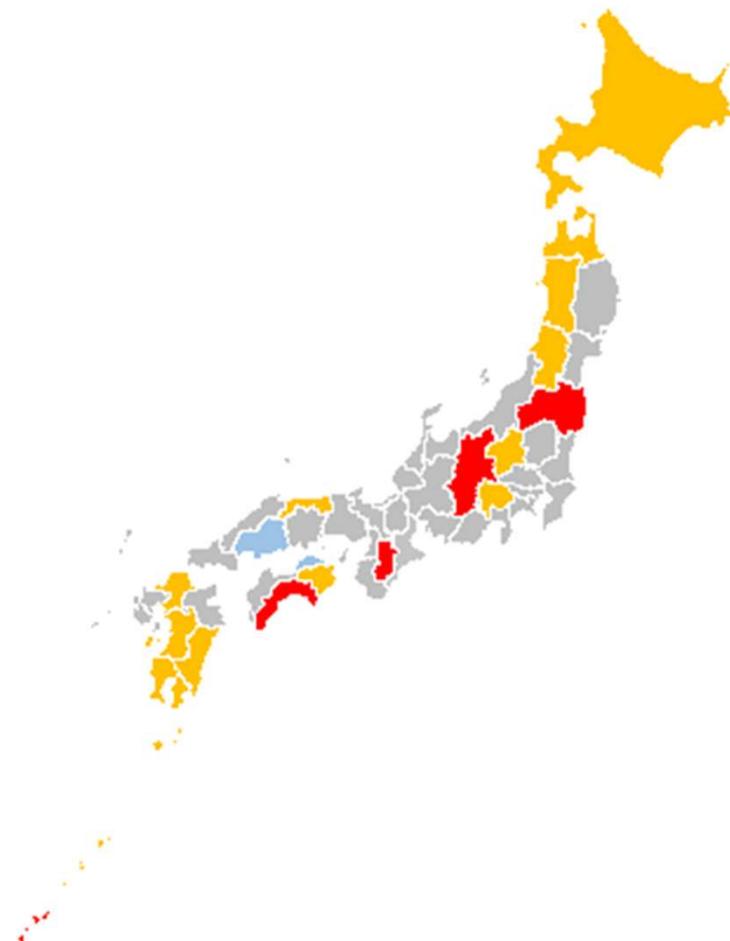
【無書店自治体調査】

2025年8月末時点
無書店自治体 28.6%

無書店率が50%以上の都道府県
(福島県・長野県・奈良県・高知県・沖縄県)

使用データ：日本出版インフラセンター提供 共有書店マスタ
集計対象「店舗あり+坪数登録あり書店」

販売会社に口座を持ち、新刊委託商品を品揃え可能な書店
(大学生協や古書店、スタンド売店などは含まず)



書店の状況について

【無書店自治体調査】

都道府県	無書店自治体	無書店率	1書店自治体	1書店以下率
北海道	73	40.8%	53	70.4%
青森県	16	40.0%	8	60.0%
岩手県	7	21.2%	12	57.6%
宮城県	10	28.6%	11	60.0%
秋田県	8	32.0%	4	48.0%
山形県	11	31.4%	10	60.0%
福島県	30	50.8%	10	67.8%
茨城県	6	13.6%	8	31.8%
栃木県	3	12.0%	6	36.0%
群馬県	11	31.4%	7	51.4%
埼玉県	7	11.1%	15	34.9%
千葉県	13	24.1%	6	35.2%
東京都	7	11.3%	7	22.6%
神奈川県	8	24.2%	6	42.4%
新潟県	7	23.3%	4	36.7%
富山県	2	13.3%	0	13.3%
石川県	2	10.5%	0	10.5%
福井県	1	5.9%	6	41.2%
山梨県	9	33.3%	4	48.1%
長野県	42	54.5%	13	71.4%
岐阜県	8	19.0%	9	40.5%
静岡県	4	11.4%	7	31.4%
愛知県	2	3.7%	5	13.0%
三重県	6	20.7%	6	41.4%

都道府県	無書店自治体	無書店率	1書店自治体	1書店以下率
滋賀県	2	10.5%	5	36.8%
京都府	5	19.2%	4	34.6%
大阪府	5	11.6%	8	30.2%
兵庫県	2	4.9%	4	14.6%
奈良県	21	53.8%	5	66.7%
和歌山県	8	26.7%	12	66.7%
鳥取県	8	42.1%	6	73.7%
島根県	5	26.3%	3	42.1%
岡山県	5	18.5%	7	44.4%
広島県	0	0.0%	7	30.4%
山口県	5	26.3%	1	31.6%
徳島県	9	37.5%	4	54.2%
香川県	0	0.0%	5	29.4%
愛媛県	4	20.0%	3	35.0%
高知県	16	47.1%	10	76.5%
福岡県	20	33.3%	10	50.0%
佐賀県	4	20.0%	8	60.0%
長崎県	5	23.8%	3	38.1%
熊本県	22	48.9%	8	66.7%
大分県	2	11.1%	4	33.3%
宮崎県	10	38.5%	7	65.4%
鹿児島県	17	39.5%	7	55.8%
沖縄県	23	56.1%	4	65.9%

書店の現況 熊本県の書店数推移(近県比較)

共有書店マスタ 都道府県別書店店舗数登録一覧表

作成日:2025.12.17

CD	県名	最新		前年同月		過去12ヵ月 2025.01~2025.12		十年前との比較			
		登録数	占有率	登録数	登録数の増減	新規店	閉店	登録数	占有率	登録数の増減	増減率
		25.12.16		24.12.17				15.12.15			
40	福岡県	358	3.53%	374	-16	1	18	521	3.56%	-163	68.7%
41	佐賀県	58	0.57%	62	-4	0	4	77	0.53%	-19	75.3%
42	長崎県	78	0.77%	84	-6	1	6	132	0.90%	-54	59.1%
43	熊本県	109	1.08%	117	-8	1	10	174	1.19%	-65	62.6%
44	大分県	105	1.04%	107	-2	0	2	144	0.98%	-39	72.9%
45	宮崎県	70	0.69%	76	-6	0	6	115	0.79%	-45	60.9%
46	鹿児島県	97	0.96%	103	-6	0	6	166	1.14%	-69	58.4%
47	沖縄県	80	0.79%	84	-4	0	4	117	0.80%	-37	68.4%
	九州・沖縄	955	9.43%	1,007	-52	3	56	1,446	9.89%	-491	66.0%
	合計	10,132	100.00%	10,568	-436	91	511	14,623	100.00%	-4,491	69.3%

日本出版インフラセンター 作成資料より

熊本県書店商業組合（組合店数：42店舗）

熊本県書店商業組合の取り組み

I. 「プレミアム付き図書券」の発行事業（全国初）

➡令和6年度は30%、令和7年度は20%のプレミアム率で実施

II. くまモンデザインのオリジナル包装紙・シールの制作・頒布

➡令和8年2月より、組合店限定で配布開始（制作原価で頒布）

III. 熊本市議会へ、図書館納入に関する請願書の提出（令和6年11月）

➡①地元書店からの定価納入 ②福祉施設への装備委託
③装備費の別予算化...を請願し、令和6年12月に採択

熊本県書店商業組合(組合店数:42店舗)

熊本県書店商業組合の取り組み

I. 日書連理事として、専門委員会「図書館委員会」に所属、活動中

➡令和7年12月10日、文部科学省を訪問し、図書館・学校図書館振興室長の坪田様と面談、図書館-書店連携について意見交換

II. 無人営業スキームやセルフレジ導入による経営の効率化

➡店頭売上の減少、諸経費増加に対する、書店存続へのチャレンジ

III. 書店スタッフのノウハウ・経験を活用した選書サービスの提供

➡北海道いわた書店の「一万円選書」を範とした選書サービス
「ブックカルテ」を展開中≒図書館様のレファレンスサービスに類似?

ご清聴ありがとうございました。